

Take Free

明日を笑顔にするフリーペーパー



EMIAS style 13

— エミースタイル —



令和元年度

EMIAS 社員総会

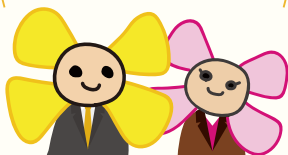
総勢41名(うち新入職員12名)で、
第1回EMIAS社員総会を5月に開催しました。



- 1
- 2
- 3
- 4

- ①EMIASグループの社員が勢揃い!
- ②挨拶する弊社代表取締役の松井
- ③和気あいあいとした総会後の懇親会
- ④表彰された永年勤続賞のスタッフ達

みんなカッコイイね!



地域の方に必要とされる企業を目指してまいります。よろしくお願いたします。

今後もEMIASグループ一丸となり、

生かせる大変有意義な学びとなりました。

ーシヨンの大切さを再認識し、日々の業務に

者にとって欠かすことのできない「コミュニケ

した講演もおこないました。私たち福祉従事

「また、特別講師を招いて『傾聴』をテーマに

できたよつで、素晴らしい総会となりました。

部署や役職の垣根を越えて活発に情報交換

との連携を深める貴重な時間でもあります。

務では話すことの少ない他部署のスタッフ

このような全社員が集まる機会は、普段の業

務では話すことの少ない他部署のスタッフ

や優秀社員の表彰式なども行いましたが、

ことを明確にして全社員で共有しました。

の存在意義や各職種がこれから取り組むべき

戦略や方針を発表。地域におけるEMIAS

取り組みを振り返りながら、今年度に向けた

総会では、各部署のリーダーが昨年度の事業

に於て執りました。

令

和元年五月に、株式会社EMIASの
株主総会を未来会議室(熊本市中央区)



人事評価(スタッフ全員)において
最も評価が高かったスタッフ
緒方 沙織 大崎 貴子



ご利用者の投票で、接遇や笑顔が
最も素敵なスマイルのスタッフ
今村 千洋



スタッフのために気配りやサポートが
最もできるスピットのスタッフ
田上 裕子



3年以上の勤続スタッフ(写真左から)
山口 裕介 田上 裕子 中島 春奈 大崎 貴子 増田 操 瀬上 恵梨



「その人らしい人生」の支援！

脳

梗塞からの退院後より、ス
ピットが在宅支援を行って
いたご利用者。後遺症の影響で、
舌や喉の動きが鈍くなり、在宅
生活での食事摂取が難しくなり
ました。ご本人、ご家族は「住み
慣れた家でこれからも生活した
い」と在宅生活を強く希望され
ていました。急な体調の変動に対
する不安や、従来の食事では誤嚥
性肺炎を起こしてしまうリスク
などがありました。今回はその
人らしい人生を送っていただく
ため、私たちがどのような支援
を行ったのかをご紹介します。

「自分らしい生き方」
をしたいな。

何かあった時、
一人で対応できるか
ちょっと不安。

本人の好きなように
させてあげたい。

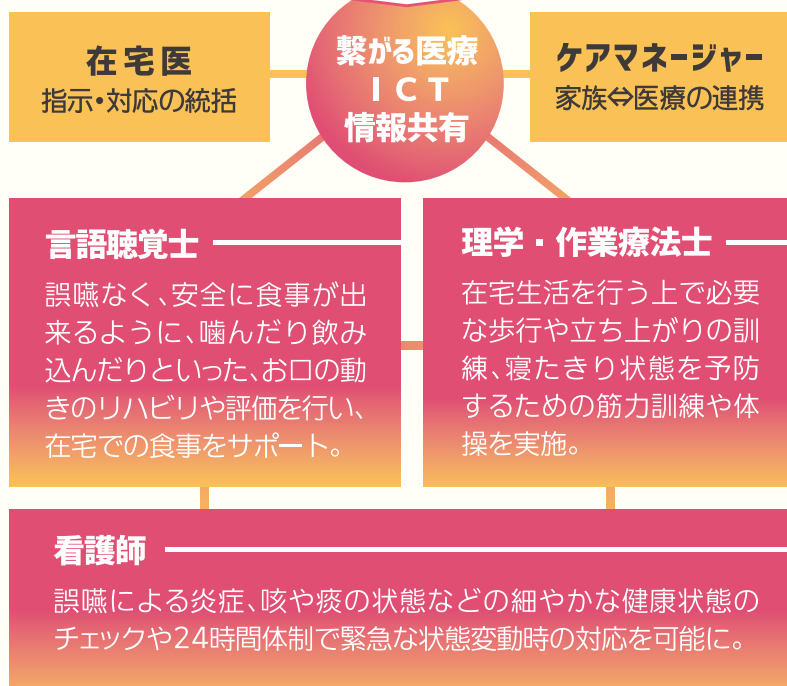
ご本人の希望

- 好きなもの(ピザやうなぎ)を
食べたい
- 50年間吸い続けてきた
タバコを止めたくない

ご家族の想い

- 好きなものを食べたり、本人の
思い通りにさせてほしい。
- 住み慣れた家での生活を
続けてもらいたい。

ICTを用いて医療職連携を活用した
「その人らしく生活する」ためのチームサポート



課題 ご本人の想いより、
医療が優先される。

一般的な医療の考え方

- 誤嚥リスクを考えた食事に変更する
- 健康面や脳卒中再発リスクを考え禁煙する

在宅医療の考え方

「好きな物は食べたい」「好きなことは辞めたくない」など、
徹底したリスク管理のもと、ご本人の意向に出来るだけ
沿えるような支援を行う。

「自己選択」と「自立支援」

現在は、大好物のピザやうなぎを
好きなだけ召し上がっているご利
用者。もし体調が急変しても、ご家
族、スタッフが連携して迅速な対
応ができるよう各サービス間での
情報共有・チームアプローチを徹
底しています。



訪問がない時の関わり

いつまでもご自宅で生活できるように

誤嚥性肺炎の主な原因

- ①食べ物が気管に入ってしまう(誤嚥)
- ②お口の中が不衛生(口腔内のばい菌)
- ③食べる姿勢が悪い(飲み込みにくい座り方)

肺炎が原因で亡くなる方は年々上昇傾向で、その9割が65歳以上とされています。その主な原因は「誤嚥性肺炎」です。食事をする際に食道ではなく、空気の入替えを行う気管の方に異物が運ばれることで引き起こされます。

誤嚥性肺炎で入院された方の

30%が在宅に戻れないとの報告があります。
在宅生活を長く過ごすには、誤嚥性肺炎を
防ぐための「食事の姿勢」が大切です。

30%

× 悪い例



椅子と背中に隙間が空くと、猫背の原因となります。背中が丸まると顎が前に出てしまい、気道確保に近い状態に。これでは食べ物が気管に入りやすくなってしまいます。

足が床から浮いてしまうと、身体のバランスが不安定になるので、肩と首に余計な力が入り、飲み込みが難しくなります。

○ 良い例



背筋はまっすぐ。

(食べ物が食道へと流れやすくなる)

背中の隙間はクッションなどで埋める。

(背中が伸びると飲み込みやすい姿勢になる)

新聞紙や本などで足台を作る。(足が浮く場合)

※車椅子のフットプレートを外すと足が浮いてしまう方にもおススメです



健康生活応援委員会(通称:ケンカツ委員会)の発足!

訪問看護・リハビリで在宅生活の支援を行っている以上、**不必要な入院を防ぐ**ことは私たちの使命です。それには住み慣れたご自宅で最期まで生活できるよう、関わりのない(訪問がない)時間の過ごし方が大切になります。そこで、スピット内に「健康生活応援委員会」を立ち上げました。月に一回「転倒」「肺炎」などを防ぐチェックシートなどを作成して、明日に紡ぐ生活支援を行っています。

